

令和6年1月 市長記者会見 配布資料

発 表 要 旨

期 日 令和6年1月19日(金)

時 間 午前10時～午前11時(予定)

発 表 内 容

- 1 令和6年能登半島地震における佐渡市の被害状況等について
……<防災課>
- 2 みんなの暮らし応援事業（原油価格・物価高騰対策）について
……<高齢福祉課>
- 3 市職員の「地域課題解決に向けた副業制度」について ……<総務課>
- 4 ピジョン株式会社の「あかちゃんとそなえの輪推進プロジェクト」への賛同宣言について ……<子ども若者課>
- 5 「家計にもやさしいエコのススメ」の開催について ……<総合政策課>
- 6 第24回全国高等学校版画選手権大会（はなが甲子園）の開催と協賛金の募集について ……<相川支所>

【事前質問】

- ① 能登半島地震について新庁舎（防災拠点庁舎）移転後初めての災害になりましたが、新庁舎での対応の成果を聞かせてください。今回の地震に関する課題もお願いします。
(防災課)
- ② 巨大地震の発生で、両津港が揺れや津波によって船の接岸ができず、佐渡空港も滑走路が損傷した場合、市はどのような支援や救援の受入れ体制を想定していますか。(防災課)

- ③ 能登半島地震でも多くの孤立地区が発生しています。佐渡でも山間部や海岸線沿いに集落があり、大きな地震が発生した場合、同じような状況になることが想定されますが、市としての支援体制などを聞かせてください。(防災課)
- ④ 能登半島地震で佐渡市にも津波警報が発令されましたが、高台にある避難所に多くの市民が集まり、一部の避難所では車が駐車場に入れなかったり、渋滞が発生したりしたと聞いています。地震発生後の島内の避難所の状況がどんな様子だったのか、また実際に避難を行っての問題点や改善点などを聞かせてください。(防災課)
- ⑤ 特定地域づくり事業協同組合の運営候補者が決まったようですが、現在の準備状況と今後のスケジュールを示してください。(移住交流推進課)
- ⑥ 令和6年度予算案の編成方針を示してください。(財政課)

市長記者会見発表内容 要旨 (R6.1.19)

1 令和6年能登半島地震における佐渡市の被害状況等について

<概要>

- 佐渡市では最大震度5強、津波警報が発表となり、鷲崎で最大30センチの津波が観測されました。
- 市の指定避難所23か所に約2,700人が避難されました。翌日2日午前1時15分に津波警報が注意報に変わり、朝方までに9割の方が帰宅されました。午前10時に注意報が解除され12時45分に避難所を閉鎖しました。
- 市内4地区の676戸で断水が発生しました。佐和田、畑野の一部、小木地区は2日に復旧し、新穂地区は3日、畑野の浜河内、丸山は5日に復旧し、全ての断水が解消しました。
- 建物被害は144戸、うち住宅が100戸の報告を受けていますが、ほとんどが、瓦のずれや落下、壁のひびなどです。住宅については、準半壊（10%から20%程度の被害）以上の被害があったものに対して、国・県の住宅応急修理の補助を実施しています。また、市では、住宅の一部損壊や住宅以外の納屋、倉庫、車庫、ブロック塀などが被害を受け修理したものに対して支援する制度を予定しています。申請には、り災証明が必要です。
- 民間事業所では、ホテル・旅館の22戸において天井落下や壁のひびなどの報告を受けています。小売店や飲食店においては、商品や食器類の破損の報告を受けています。県内事業者向けに新潟県が融資制度の相談窓口を開設しています。
- 市道では、112か所でひび割れや沈下などがありましたが、生活道路の通行止めはありません。
- 両津港や小木港の埋立地付近で液状化が見られ、現在、調査を実施しています。
- 県の臨港道路湊線が、液状化による一部通行止めとなっており、復旧の見通しはたっていない。
- 農業関係では、圃場のパイプラインについて、現在調査中です。農業用水路については、今後、各集落の水利組合などに点検をお願いし、状況を確認したいと考えています。
- 今回の地震では、能登の状況を見ても津波の到達時間が早く、数分で到達したところもありました。大きな揺れを感じたら、津波の情報を待たず、すぐに高い所へ避難し、間に合わない場合は、建物の2階や3階に上がる垂直避難をしてください。

- 能登半島地震災害義援金として、市では募金箱を設置し、被災者支援のための義援金を募っています。集まった義援金は、日本赤十字社を通して被災地に送られます。
- 友好都市の石川県珠洲市へのふるさと納税代理受付も実施しています。
- 市職員に義援金の呼びかけを行い、集まった義援金（96万6,100円）の半額相当（48万3,100円）を珠洲市に、残り（48万3,000円）を石川県に1月17日に送金しました。
- 支援物資として水、衛生用品を中心に、被災地にお届けしたいと考えています。（石川県と調整段階）
- 1月3日から1月16日にかけて消防職員を3班体制で計24名派遣しました。
- 新潟市でも大きな被害があったので1月23日から1月31日にかけて家屋の被害認定調査のための職員を2名派遣します。1月29日から2月8日にかけては、珠洲市及び七尾市に上下水道課の職員4名を派遣する予定です。両津病院の看護師2名の派遣も予定しています。
- 1月22日に佐渡市派遣職員の出発式、1月25日に消防職員の帰任報告を実施します。

2 みんなの暮らし応援事業（原油価格・物価高騰対策）について

<概要>

- 物価高騰による家計への負担が大きい低所得者世帯（住民税非課税世帯）については、すでに「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金・冬季生活支援金」として7万5千円を支給していますが、物価高騰による負担増は多くの市民に影響するものと考えられますので、低所得者世帯に該当しない世帯に対し1世帯あたり5千円分の暮らし応援券を配布します。
- 2月上旬から対象の世帯に応援券をお送りします。
- 応援券の利用期間は、令和6年3月1日から5月31日までで、市内取扱登録店で利用できます。

3 市職員の「地域課題解決に向けた副業制度」について

<概要>

- 令和6年4月から、市職員の地域課題の解決に向けた副業制度の開始を予定しています。市民の皆様からご意見をいただきながら、制度づくりを進めたいと考えています。
- 市職員の副業は、これまでも集落の役員や消防団員、家業の農業などに兼業を認めています。市職員が行う地域課題の解決に繋がる取組み等について、副業の対象として拡大が可能か、現在、議会とも協議しながら検討を進めています。
- 佐渡市において、労働力不足や地域コミュニティの衰退といった地域課題があることから、職員が現場で学び様々なスキルを身につけることで、地域に貢献するとともに、あわせて人材育成を図ることを目的に考えています。
- 対象は、繁忙期に人手が不足する農林水産業や観光関係の業種のほか、高齢者の生活支援や部活動の指導といった地域貢献活動について、勤務時間外に時間の上限を設けたうえで従事を可能とするなど、職務に影響が生じないよう、一定のルールの中で行うことで検討しています。
- この制度の概要は、ホームページや市報さどでお知らせします。
- ご意見は、スマートフォンなどから入力できるフォームをご用意するほか、市役所本庁、支所・行政サービスセンターの窓口にも用紙を設置します。(締切：2月29日)
- いただいたご意見とその回答は、3月中にホームページで公表します。

4 ピジョン株式会社の「あかちゃんとそなえの輪推進プロジェクト」への賛同宣言について

<概要>

- どんなときも赤ちゃんをまもり、赤ちゃんにやさしい場所をつくり続けるために、「あかちゃん防災」をはじめとした、もしもへの備えを広めていくことを宣言されているピジョン株式会社様の赤ちゃんにやさしいまちづくりに賛同するものです。
- 現在、全国39の自治体が参加していますが、離島における賛同は佐渡市が初めてです。
- ピジョン株式会社様と連携することで、防災備蓄のアドバイス、防災訓練やイベントでの防災グッズの展示やサンプル品の提供をいただき、防災情報の啓発に取り組んでいきたいと考えています。

- 離島である本市において防災力の向上は不可欠であり、佐渡の宝である子どもたちを守るため、「そなえの輪」を広げ、安心して産み育てることができる地域づくりを連携して進めてまいります。

5 「家計にもやさしいエコのススメ」の開催について

<概要>

- 2月12日（祝日）に、あいぽーと佐渡で「家計にもやさしいエコのススメ」と題し、佐渡未来講座及び脱炭素セミナーを開催します。
- 佐渡市が目指す「持続可能な島」の実現に向け、市内のCO₂排出量が実質ゼロとなるよう、家庭で簡単に取り組み、家計にも優しい環境に配慮した暮らし方などについて、専門家の方々からご紹介いただきます。
- セミナーに加え、手回し電動ミニカーの工作体験や、EVを活用したフードトラックでの焼き芋の販売など、身近な「脱炭素」の出展を行います。

◆イベント内容

- ・脱炭素セミナー（事前申込制）
 - * 新潟県地球温暖化防止活動推進センター長
地球温暖化・気候変動とは何か、我々の生活にどのような影響があるか、ゼロチャレ30取組みの紹介
 - * 東京大学未来ビジョン研究センター福士先生
再エネ・脱炭素の取組みが佐渡にもたらすメリットについて紹介
 - * 三井住友海上 AS
電気代や燃料代などを削減できてCO₂削減にもつながるもの、自ら選択してCO₂削減の製品を選ぶことについて具体例を交えて紹介
- ・誰でもできる温暖化防止活動のPR、脱炭素関係ノベルティ配布
- ・「わくエコ」電動手回しミニカー工作体験
- ・電動トライク、電動自転車、EVスクーターの展示
- ・「フードトラック絹いもや」の出展
- ・自然エネルギーの島構想パネル展示 など

6 第24回全国高等学校版画選手権大会（はんが甲子園）の開催と協賛金の募集について

<概要>

- 3月16日～20日、相川体育館を会場に「はんが甲子園」の本選大会を開催します。
- 今大会には、個人戦を含む15府県23校から228点の応募がありました。
- 予選審査会を1月21日にリモートで開催し、団体部門の本選出場校14校の選抜、並びに個人部門の優秀作品10作品程度の選定を行い、1月22日に結果発表の予定です。
- 高校生から佐渡を実際に見ていただき、若い感性で独自の佐渡を表現した素晴らしい作品が仕上がることを期待しています。
- クラウドファンディングによる協賛金の募集を実施しています。

◆大会日程

- ・ オプションツアーなど 3月16日（土）
- ・ 開会式 3月17日（日）

※作品制作は、3月17日13:00～3月19日18:00

- ・ 本審査、表彰式・閉会式 3月20日（水・祝）

◆クラウドファンディング

- ・ 支援募集 1月31日（水）23:00まで
- ・ 目標金額 80万円